単元名 人間のきずな 「ヒューマノイド」 第２学年　Ｃ読むこと	内容のまとまり 第２学年 〔知識及び技能〕⑴言葉の特徴や使い方に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕「Ｃ読むこと」

１　単元の目標

（１）話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。

〔知識及び技能〕（１）オ

（２）登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕Ｃ（１）イ

（３）精査・解釈で明らかにしたことを踏まえ、単元課題について考えをもち、他者と意見交流する中で、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕Ｃ（１）オ

（４）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。　「学びに向かう力、人間性等」

２　本単元における言語活動

伊坂幸太郎「ヒューマノイド」を読み、「この作品が作者のいう『読者の目線が３度上がる』につながっているか」について、学んだことや知識・経験と結び付けたことを根拠として解説したり、小集団で考えたことなどを伝え合ったりすることを通して、自分の考えを広げたり深めたりすること。　（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕Ｃ（２）イ）

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話や文章の構成や展開について理解を深めている。 （(１)オ）	①登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。　（Ｃ(１)イ） ②精査・解釈で明らかにしたことを踏まえ、単元課題ついて考えをもち、他者と意見交流する中で、自分の考えを広げたり深めたりしている。 （Ｃ(１)オ）	①登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

４　指導と評価の計画（６時間）

時	主たる学習活動	評価する内容		評価方法
１ ・ ２	○単元の計画をつくる。 ○文章の内容を理解する。	［知識・技能］①		観察 ノート記述
３ ・ ４	○過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。	［思考・判断・表現］①	［主体的に学習に取り組む態度］①	観察 ノート記述 ワークシート記述
５	○各個人が学んだことやそれぞれの視点をふまえて、単元課題について他者との対話の中で広げたり深めたりする。	［思考・判断・表現］②		観察 ノート記述 ワークシート記述
６	○単元の振り返りをする。	［主体的に学習に取り組む態度］①		ノート記述 ワークシート記述

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
１ ・ ２	○単元の見通しと、言語活動について理解する。 ○文章の内容を理解する。 「僕（主人公）」「タクジ」や、文章の大まかな展開を捉えることを通して、「ヒューマノイド」の概要を理解する。	・作家伊坂幸太郎の経歴やインタビューの言葉を紹介しながら、本教材の魅力に目を向けさせる。 ・作者が作品を書く上で大切にしていることが、この作品にも該当するのかを、本教材を使って探究し、言語化していくという単元の見通しをもつ。 ・自力でまとめることができない生徒には、「いつ」「どこで」「誰が」「何をしたのか」について、整理することができるように支援する。	［知識・技能］① 観察・ノート記述 ・ここでは、人物の言動や基本情報などを正確にまとめられているか、おおよその場面について、出来事を中心にまとめているかを確認する。

3 ・ 4 （本時）	○過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。 Ｑ１．タクジは、なぜ「転ばない」ロボットを作らなかったのか。 Ｑ２．「タクジ、聞いていた話と違うじゃないか」とあるが、何が違っていて、そのことを「僕」はどのように感じているのか。	・「転ばないロボットを作らなかった理由」に関連する言動に着目させる。そして、現在のタクジの言動を手がかりに、タクジにもさまざまな経験があり、成長していったのだと考えるように支援する。 ・伏線を理解するために、【学びのカギ】（教科書 p. 103）を提示する。繰り返し出てくる物（絵の具）や、複数の場面で起こった出来事（恥をかく、転倒する）などに着目させる。	［思考・判断・表現］① 観察・ノート記述 ・ワークシート記述 ・ここでは、登場人物の言動を根拠として、「転ばないロボットを作らなかった理由」を自分なりに解釈し、まとめているかを確認する。 ・ここでは、主人公の発言の意味を、登場人物の言動や過去の出来事を根拠として捉え、まとめているかを確認する。
5	○作品を読んで考えたことを語り合う。 ○単元課題について考えをもつ。前時までの精査・解釈で捉えたことを基にして、自分の考えを広げたり深めたりする。	・対話のポイントを示し、仲間の考えのどこに着目すべきかを明確にすることで、自分の考えと比べて広げたり深めたりすることができるように支援する。	［思考・判断・表現］② 観察・ノート記述 ・ワークシート記述 ・これまでの学習でワークシートに書きまとめたことや他者との協同的な学習で得たことを根拠に、単元課題について、自分の考えを広めたり深めたりしているかを確認する。
6	○単元の振り返りをする。 学んだことを観点ごとに振り返り、自分の言葉でまとめる。自分が付けた力の状況について振り返る。	・個人目標の達成度を三段階で自己評価させ、その理由について詳細に記述させることで、自分の力の高まりや課題に気付かせ、今後の学習の調整に向かえるようにする。	［主体的に学習に取り組む態度］① ノート記述・ワークシート記述 ・ここでは、自己評価と振り返りの記述から、単元で身に付けたことを理解し、今後の読書生活に生かそうとしているかを確認する。